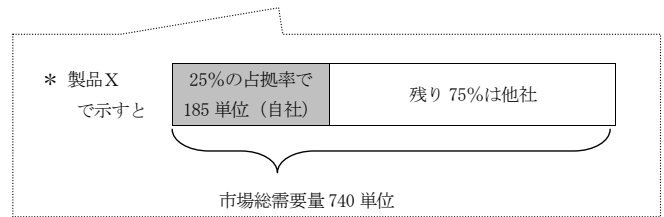


第116回 日商簿記検定試験 1級 ー原価計算ー 解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問『問1』

(1)	(単位：円)	製品X	製品Y
	販売単価	@70,000	@45,000
	標準変動費		
	直接材料費	@20,000	@22,400
	直接労務費	@ 8,000	@ 3,500
	製造間接費	@15,000	@ 7,500
	販売費	@ 3,500	@ 900
	合計	@46,500	@34,300
	単位あたり貢献利益	@23,500	@10,700
	X	@23,500 円 × 185 単位	= 4,347,500 円
	Y	@10,700 円 × 540 単位	= 5,778,000 円
(2)	X 貢献利益	4,347,500 円	
	Y 貢献利益	5,778,000	
	貢献利益総額		10,125,500 円
	X 個別固定費	850,000 円	
	Y 個別固定費	2,200,000	
	共通固定費	3,760,000	
	固定費総額		6,810,000 円
	予算営業利益		3,315,500 円
(3)	製品X	製品Y	
	生産・販売量	185 単位	540 単位
	市場占拠率	↓25%	↓40% * 市場占拠率で割り戻す
	市場総需要量	740 単位	1,350 単位



『問2』

(1)	X	@68,000 円 × 250 単位	= 17,000,000 円
	Y	@45,000 円 × 550 単位	= 24,750,000 円

(2)	X	@46,500 円 × 250 単位	= 11,625,000 円
	Y	@34,300 円 × 550 単位	= 18,865,000 円

(3)		標準変動費		実際変動費
	(2)より X	11,625,000 円	X材	4,974,750 円
	Y	18,865,000 円	X労	2,040,000 円
	合計	30,490,000 円	Y材	12,628,000 円
			Y労	1,914,000 円
			間	7,885,000 円
			X販	888,500 円
			Y販	490,000 円
			合計	30,820,250 円

★ 30,490,000 円 — 30,820,250 円 = 330,250 円 (不利)

(4)		実際損益計算書	
	売上高	X 17,000,000 円	
		Y 24,750,000 円	41,750,000 円
	標準変動売上原価	X 11,625,000 円	
		Y 18,865,000 円	30,490,000 円
	標準貢献利益		11,260,000 円
	変動費原価差異		330,250 円 (不利)
	実際貢献利益		10,929,750 円
	固定費	X 835,000 円	
		Y 2,210,000 円	
		共 3,785,000 円	6,830,000 円
	実際営業利益		4,099,750 円

(5)	X	(@70,000 【標】 — @68,000 【実】) × 250 単位 = 500,000 円 (不利)
	Y	(@45,000 【標】 — @45,000 【実】) = 0 (原価差異なし)
(6)	X	(185 単位 【標】 — 250 単位 【実】) × @23,500 = 1,527,500 円 (有利)
	Y	(540 単位 【標】 — 550 単位 【実】) × @10,700 = 107,000 円 (有利)

(7)	X			
		【標】総需要量	【実】総需要量	【実】総需要量
		【標】占拠率	【標】占拠率	【実】占拠率
(8)	市場総需要量	740 単位	1,250 単位	1,250 単位
	市場占拠率	25%	25%	20%
	販 売 量	185 単位	312.5 単位	250 単位
		市場総需要量差異	市場占拠率差異	
		* 1	* 2	

- * 1 (185 単位【標・総需要量より】－312.5【実・総需要量より】) × @23,500＝2,996,250 円 (有利)
『占拠率は同じで総需要量の違いによる差異』
- * 2 (312.5 単位【標・占拠率より】－250 単位【実・占拠率より】) × @23,500＝1,468,750 円 (不利)
『総需要量は同じで占拠率の違いによる差異』

★ Yについても同様に行ってみてください